

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4 年 5 月 9 日

事業所名 児童デイサービス 福の木

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0		定員に対し 十分なスペースが確保されている。
	2	職員の配置数は適切である	6	0		基準の人員構成は できている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	1		賃貸物件であるため リフォームは難しい、段差のない平面の室内になっている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	「気付きノート」の作成	日々の報告・ミーティングでの支援の振り返りや個別支援を基にスタッフ会議を開き、支援の方向性や問題点を検討しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	評価表での意向 連絡帳に書かれている意向を業務改善につなげている。	保護者の要望を重視し 寄り添えるように業務改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0		ホームページで 公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	6		第三者による外部評価を受ける準備ができていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	年間計画に沿って内部研修を行い、職員の資質向上につなげている。	外部・内部研修を 年間予定に取り組んでいる。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0		保護者様と面談後、スタッフ会議を開その児童に応じた課題や方向性を決め個別支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	0	6	独自の評価表を用いている。	標準化したアセスメントツールは使用していないが、独自の評価表を用いている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	月間の活動内容を組織として取り組んでいる。	手・指を使った 作業課題も立案していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0		創作活動だけでなく SST 自立・就労に向けてのプログラムも 取り組んでいく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0	平日・休日・長期休暇に適した活動を取り組んでいる。	平日には基礎学習、休日・長期休暇には 時間を要する活動を取り組んでいる。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	個別支援計画書原案をもとにスタッフと話し合い計画書の作成に取り組んでいる。	個々に必要な療育活動を組み入れている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	ミーティングの時間を使って確認している。	朝のミーティングで、一日の業務の流れを確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2	急を要する案件には 管理者に連絡し 早急に対応できるように組織作りをしている。	送迎時間が異なるため まとまった時間がとれず 「気付きノート」を活用し、気付いた点を 翌日の朝のミーティングで報告している。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	独自のケース記録表に記録している。	日々の活動の様子だけでなく長期目標・短期目標についての達成度や課題についても記載している。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	定期的にモニタリング・評価・スタッフ会議を実施し見直しの必要性を検討している。	6ヶ月に一度、モニタリングを行い、支援計画の見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	6	0	職務に合わせたガイドライン・集団指導資料の回覧	基本活動・独自の活動を組み合わせ 活動している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	3	相談支援事業所から電話での問い合わせがあったときには児童管が対応している。	電話での問い合わせはあるが 相談支援事業所での担当者会議は 開催されていない。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	0	学校お迎え時 担当の先生より様子についてお話を伺っている。	学校との連携は、相変わらず、乏しい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	6		現在 医療的ケアが必要な該当児童は、いない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	0	就学前の関係機関と連絡を取っている。	事業所を見学していただき ご利用予定の児童様にあつた事業所か否かの判断や情報共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	0		情報提供を 求められたときには、保護者様の了解を得てお伝えするようにしている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	0	新入職の方には児童発達支援センターの研修を受講していただいている。	外部研修・内部研修を通じ、職員の資質向上・自己研鑽を行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	6	地域の和太鼓の会に参加している。	難しい問題であるが、障がいに関係なく参加できる和太鼓の会に入会させていただいている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	0	放課後等デイサービスに連絡協議会に参加している。	障害福祉サービスの情報や他事業所の活動の様子など情報をいただいている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	各児童の連絡帳・ご自宅送迎時保護者様とお話し情報を共有している。	モニタリング・お電話・送迎時において、保護者様との情報共通・理解をいただいている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	6	ペアレントトレーニングを受講された 保護者様から資料をいただいている。	現在 ペアレントトレーニングの研修を受講していないのでペアレントトレーニングの受講を 検討していきたい。
保護者への説明書	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	契約時丁寧に説明させていただいている。	質問を受けながら 詳しく説明させていただいている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	連絡帳・電話・送迎時にその都度対応させていただいています。	相談できる雰囲気づくりを心がけています。個別支援計画書に家族支援として記載し 定期的に評価しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	0	過去には保護者を交えての運動会を開催した。	コロナ禍であり、保護者様を交えた交流会ができていなかったが、再び、保護者様を交えての行事を企画している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	苦情・相談窓口を設置しています。	行政機関への相談が必要と思われる場合には、窓口担当者から行政機関に相談を検討いたします。

責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	ブログでの発信・月間活動予定表をお渡ししている。	ブログの投稿回数を増やし、事業所の活動にご理解いただけるように努力している。
	35	個人情報に十分注意している	6	0	鍵のかかる書庫に保管しています。	適切な場所で管理している。。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	時系列の表や絵カードを使用している。個々に応じたコミュニケーション方法で意思疎通を行っている。	重要事項説明書・契約書には 拡大版・ルビを振ったものを用意している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	0		セキュリティや安全の配慮から事業所への招待は行っていません。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	0	保護者が来訪時手に取りやすいように マニュアルを置く場所も工夫している	マニュアルの見直し・検討を行い、常に事業所に即したマニュアルとして整えている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	職員の研修として防災避難訓練を実施している。児童には 月に1回災害訓練の実施・机上での学習を行っている。	職員とご利用児童で 災害避難場所の確認を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	年間研修予定に組み込んでいる。	虐待報道の 報道があった翌日には、朝のミーティングを使って、ミニ研修会を開いている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0	現在、対象児童はいない。	個別支援計画書の記載、拘束の記録、保護者様との同意書を残している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	現在、アレルギー反応が見られるお子様は、いらっしゃらない。	協力医療機関に 協力を求められるようになってきている。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	ヒヤリハット事例集を作成している。年度初めには振り返り、同じ事を繰り返さないために事業所全体で安全への意識を高めている。	「振り返りの研修」・「気付き」の ノートを活用し、適切な対応、安全に気を付けている。	